

# 福島経済マンスリー

## 9月の県内経済は、全体では引き続き厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

### 1. 2022年9月の県内経済

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、円安およびロシアによるウクライナ侵攻に起因する原油・原材料価格の高騰などの要因から、全体では引き続き厳しい状況にあるものの、新車販売が16カ月ぶりに前年を上回るなど消費動向の一部や、公共投資などに持ち直しの動きがみられる。		
消費動向	乗用車販売台数は半導体不足がやや改善し、新車販売が16カ月ぶりに前年を上回った。但し、前々年の2020年を下回っており、先行きは不透明である。大型小売店販売額が前年を下回ったが、ドラッグストアとコンビニエンスストアの販売額は引き続き前年比で増加した。一方、消費者物価指数は「食料」などを中心に総合指数が上昇しており、消費動向への影響が懸念される。		
公共投資	公共投資は、相双地域で除染土壌の運搬や研究施設の建設などに関わる工事が発注されたことなどから、請負金額が前年を35.6%上回った。一方、件数が前年比△6.4%、保証金額が同△2.7%といずれも前年を下回った。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、工事費予定額が運輸業や農林水産業、飲食店・宿泊業などを中心に増加したことなどから、前年を48.9%上回ったものの、棟数は前年を24.5%下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は前年比+6.4%と2カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同△6.1%と前年を下回ったものの、貸家が同+35.9%、分譲が同+12.1%といずれも前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が93.0で前月比+3.1%、原指数が83.7で前年比+3.8%となった。業種別の季節調整済指数を前月比でみると、「情報通信機械工業」など10業種で上昇し、「印刷業」など9業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が1.50倍と前月を0.01ポイント上回ったものの、新規求人倍率は、季節調整値が2.25倍と前月を0.22ポイント下回った。また、雇用保険受給者実人員は前年比で△1.8%となった。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は8月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良 い

悪 い

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2022年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.2	△ 0.7	△ 0.5	1.4	△ 1.1	△ 1.4
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	1.2	2.0	1.9	3.1	4.2	0.6
	ドラッグストア販売額（全店舗）	5.1	2.6	0.8	4.3	4.7	4.3
	乗用車販売台数	△ 13.0	△ 5.7	△ 5.9	△ 7.5	△ 5.3	3.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	27.1	△ 28.8	△ 12.4	△ 0.4	24.5	35.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	64.3	15.0	39.1	239.6	16.6	48.9
住宅投資	新設住宅着工戸数	1.5	△ 16.9	△ 18.0	7.9	△ 27.2	6.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.6	△ 1.0	△ 1.6	△ 0.4	3.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.13	0.13	0.11	0.09	0.19	0.17
	雇用保険受給者実人員	△ 5.7	△ 1.7	△ 5.2	△ 4.1	0.5	△ 1.8

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2022年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 4.9	4.9	△ 4.0	5.6	0.1	△ 8.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 0.8	3.0	△ 0.7	8.8	△ 1.0	△ 6.8
	ドラッグストア販売額（全店舗）	5.6	0.08	3.4	3.8	5.2	△ 6.9
	乗用車販売台数	△ 41.3	△ 6.8	11.1	△ 2.4	△ 10.1	19.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	84.1	△ 46.5	29.1	△ 9.6	1.9	27.4
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 22.7	△ 51.2	76.4	2.2	△ 37.4	43.3
住宅投資	新設住宅着工戸数	6.9	△ 29.5	28.0	18.6	△ 23.1	15.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	6.4	△ 2.7	4.0	1.3	3.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	0.02	△ 0.01	0.01	0.09	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 1.6	3.4	14.0	0.2	7.9	△ 8.0

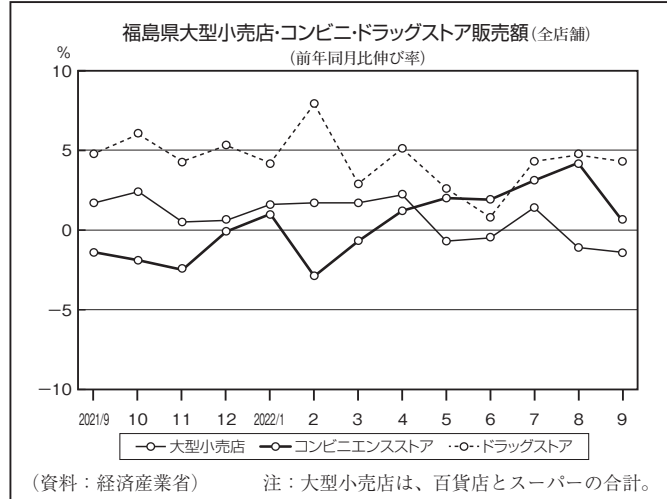
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

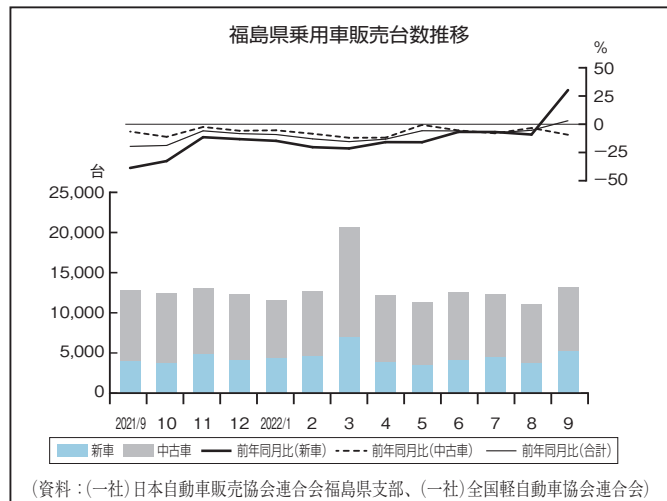
##### 大型小売店が前年比減、ドラッグストア およびコンビニが前年比増

9月の県内大型小売店の販売額は216億87百万円（前年同月比△1.4%）と2カ月連続で前年を下回った。一方、ドラッグストア販売額は98億18百万円（同+4.3%）と17カ月連続、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は171億93百万円（同+0.6%）と6カ月連続でそれぞれ前年を上回った。なお、大型小売店、ドラッグストア、コンビニの販売額合計は486億98百万円（同+0.4%）と前年を上回った。



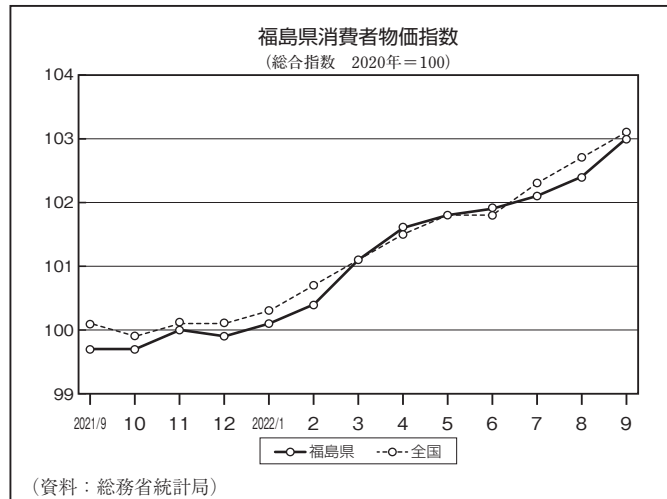
##### 乗用車販売：16カ月ぶりに前年比増

9月の乗用車販売台数をみると、新車が5,187台（前年同月比+29.7%）、中古車が7,947台（同△9.2%）、合計が13,134台（同+3.0%）となり、新車が16カ月ぶりに前年を上回ったことから、合計でも前年を上回った。但し、世界的な半導体不足は最悪期を脱したものの、依然として楽観できる状況ではなく、9月の新車販売台数も2020年と比較すると△19.7%となっている。



##### 消費者物価指数：前月比、前年比とも上昇

9月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が103.0で前月比+0.5%、前年同月比+3.2%。費目別に前月比で見ると、「食料」の104.8（前月比+0.9%）など6費目で上昇、「教養娯楽」の104.6（同△0.8%）など2費目で下降した。

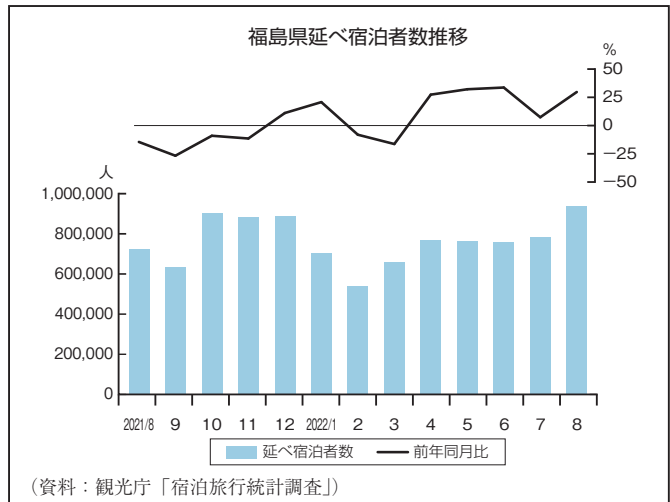


観光

※延べ宿泊者数は8月データ

延べ宿泊者数：5カ月連続で前年比増

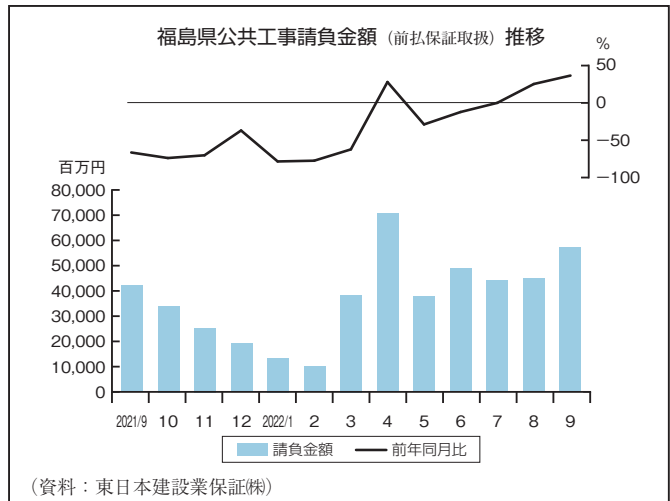
8月の延べ宿泊者数は、935,710人（前年同月比+29.2%）と、宿泊割引事業「福島県 県民割プラス」が継続していることなどから、5カ月連続で前年を上回った。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月連続で前年比増

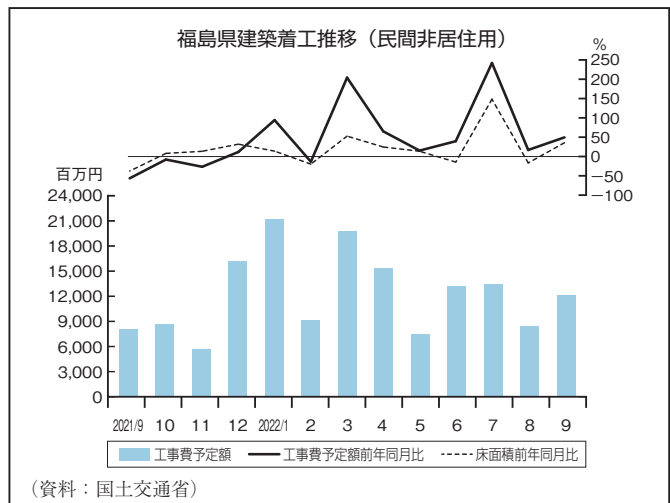
9月の公共工事前払保証取扱は、相双地域で除染土壌の運搬や研究施設の建設などに関わる工事が発注されたことなどから、請負金額が577億31百万円（前年同月比+35.6%）と前年を上回った。一方、件数が788件（同△6.4%）、保証金額が212億20百万円（同△2.7%）といずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が7カ月連続で前年比増

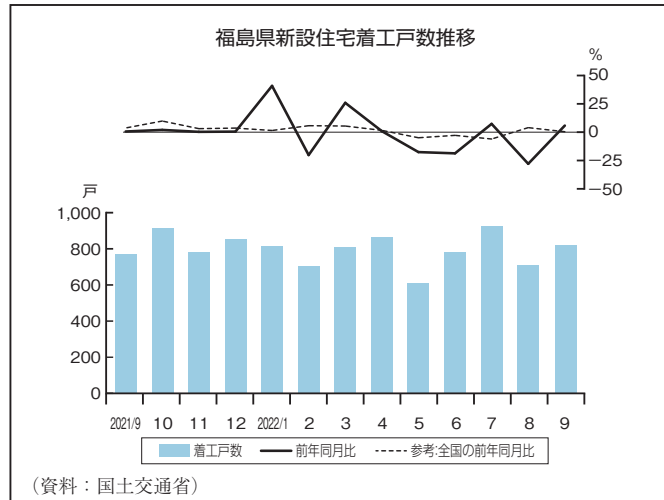
9月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が123棟（前年同月比△24.5%）と前年を下回った。一方、工事費予定額が120億90百万円（同+48.9%）、床面積が52,178㎡（同+35.1%）といずれも前年を上回った。業種別では、運輸業や農林水産業、飲食店・宿泊業などの工事費予定額が前年比で増加した。



住宅投資

住宅建設：2カ月ぶりに前年比増

9月の県内新設住宅着工戸数は820戸（前年同月比+6.4%）と2カ月ぶりに前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が431戸（同△6.1%）と前年を下回ったものの、「貸家」が231戸（同+35.9%）、「分譲」が157戸（同+12.1%）といずれも前年を上回った。

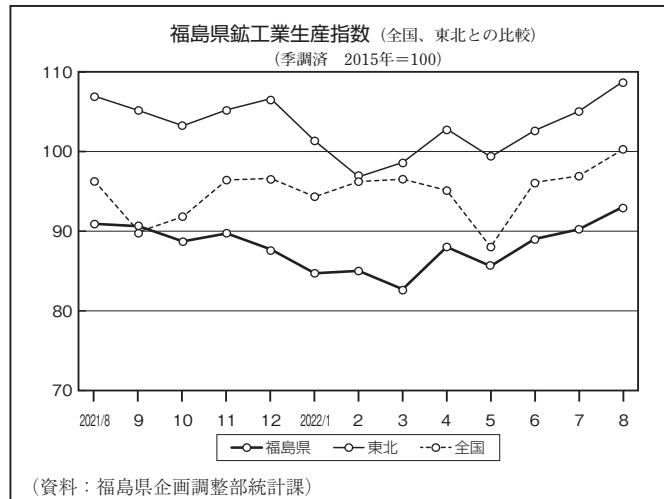


生産活動

※鉱工業生産指数は8月データ

鉱工業生産指数：前月比、前年比とも上昇

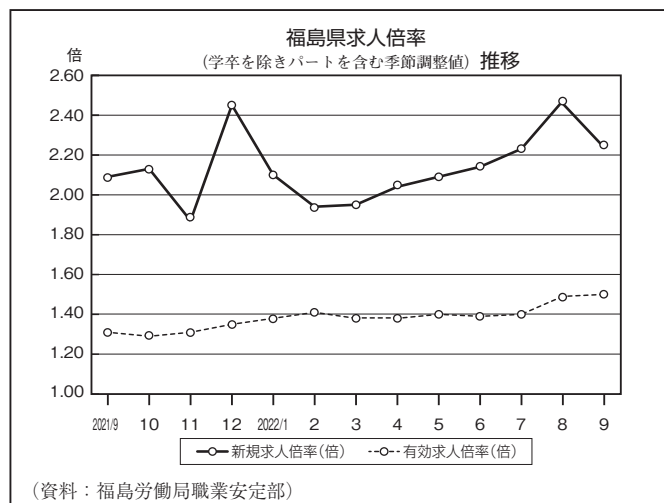
8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が93.0（前月比+3.1%）、原指数が83.7（前年同月比+3.8%）となった。業種別の季節調整済指数をみると、「情報通信機械工業」（前月比+45.6%）など10業種で上昇し、「印刷業」（同△38.1%）など9業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比、前年比とも上昇

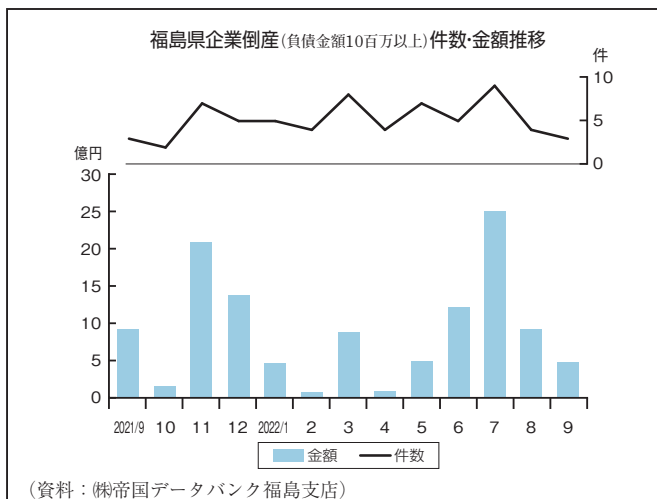
9月の新規求人倍率は、季節調整値が2.25倍（前月比△0.22ポイント）、原数値が2.38倍（前年同月比+0.20ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.50倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.48倍（前年同月比+0.17ポイント）となった。また、9月の雇用保険受給者実人員は6,733人（前年同月比△1.8%）と前年を下回った。



## 企業倒産

### 企業倒産：件数が前年と横ばい、負債総額が前年比減

9月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比±0.0）、負債総額が4億70百万円（同△49.0%）。業種別で見ると、建設業、運輸・通信業、小売業が各1件となった。

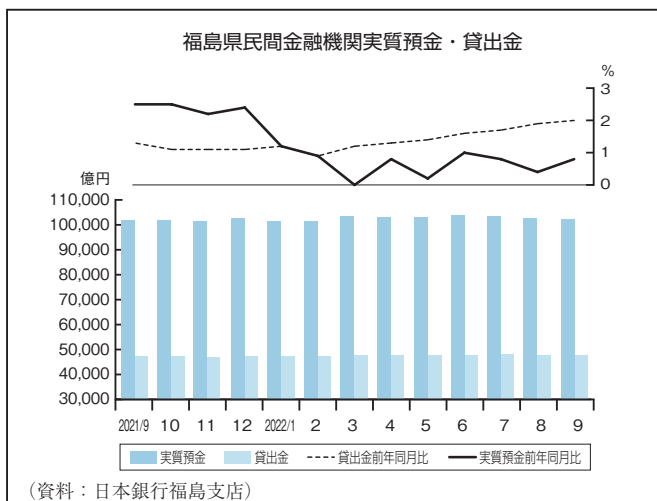


## 金融動向

### 資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の9月末の実質預金残高は、10兆2,758億円（前年同月比+0.8%）と3年4カ月連続で前年比増加。また、貸出金残高は、4兆7,860億円（同+2.0%）と9年4カ月連続で前年比増加。

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。



### 保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

9月の保証承諾は、件数が924件（前年同月比+31.3%）、保証金額が152億15百万円（同+62.2%）。9月末日現在の保証債務残高は、件数43,473件（同+2.6%）、金額5,623億5百万円（同△0.7%）。一方、9月中の代位弁済は、件数が35件（同+169.2%）、金額が4億56百万円（同+564.6%）。

